

石川県リハビリテーションセンターニュース

目次	車椅子バスケットボール体験教室開催	1
	平成20年度リハビリテーションセンター研修会予定	2
	バリアフリー推進工房の活動	4
	障害のある人への自動車運転技術支援	5
	ー自動車運転シミュレーション装置の更新のお知らせー	
	県高次脳機能障害相談・支援センターの活動紹介	6

車椅子バスケットボール体験教室開催

平成20年度スポーツ用具・環境整備の普及事業

車椅子バスケットボール、車椅子ツインバスケットボールの体験教室を開催

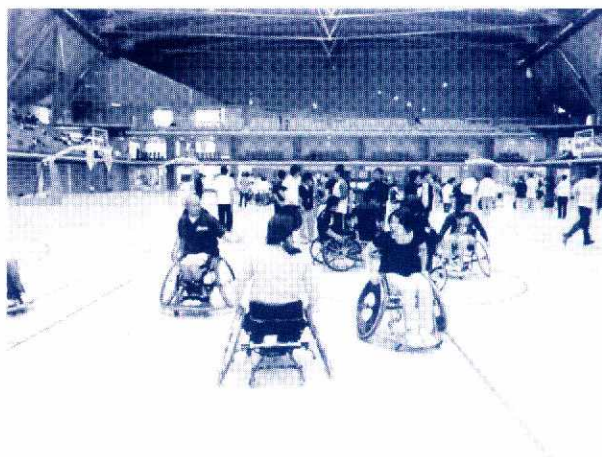
県リハビリテーションセンターでは平成19年度から障害者スポーツ用具・環境整備の普及事業として車椅子バスケットボール、ハンドサイクル、チェアスキーなどの講習会を行ってきました。5月18日いしかわ総合スポーツセンターのオープンイベントとして県障害者スポーツ協会主催の「ミリオンカップ2008」大会が行われました。リハビリテーションセンターではこの大会に合わせて、多くの一般の方々に車椅子スポーツを「知ってもらう、触れてもらう」ことを目的に体験教室を開催しました。

講師は車椅子バスケットボール、車椅子ツインバスケットボールの選手の方々にお越し、高校生や大学生など約70名の方の参加がありました。

最初に、バスケット競技用車椅子の特徴を学び、「パス・ドリブル・シュート」と実車に乗って経験し、最後には5対5の試合を行うことができました。参加者の方々は初めての経験に戸惑いながらも、真剣にまた楽しそうにプレーをしていました。



ドリブルの練習をする参加者



車椅子の基本操作練習

平成20年度 リハビリテーションセンター研修会予定

1 地域リハビリテーション研修

リハビリテーション関係機関の連携を推進するための研修会です。

(1) 地域リハビリテーション研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
12月7日(日) 13:00～17:00	特別講演:「脳卒中のリハビリテーション最前線」 講師:宮井一郎氏(森之宮病院 院長代理) シンポジウム:未定	県リハセンター	保健・医療・福祉に従事する専門職等

(2) 地域リハビリテーション実務者研修会

① 運動器機能向上セミナー(事例から学ぶ運動器の機能向上のための個別支援のあり方)

日 時	講 師	会 場	対 象 者
7月10日(休)	水上 直彦氏(特別介護老人ホーム 理学療法士)	奥能登行政センター	介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所介護、通所リハビリテーション、市町地域包括支援センター等職員
7月11日(金)	北谷 正浩氏(公立羽咋病院 理学療法士)	能登中部保健福祉センター	
7月24日(休)	霧下 和也氏(やわたメディカルセンター 理学療法士)	両加賀保健福祉センター	
8月5日(火)	丸田 和夫氏(まると老年リハビリ研究所)	県リハセンター	

② 生活行為向上セミナー(事例から学ぶ生活行為向上のための個別支援のあり方～認知症、閉じこもり予防・支援を中心として～)

日 時	講 師	会 場	対 象 者
7月10日(休)	尾尻 恵子氏(あいずみクリニック 作業療法士)	奥能登行政センター	介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所介護、通所リハビリテーション、市町地域包括支援センター等職員
7月11日(金)	進藤 浩美氏(恵寿総合病院 作業療法士)	能登中部保健福祉センター	
7月24日(休)	明福 真理子氏(能美市介護老人保健施設 作業療法士)	両加賀保健福祉センター	
8月5日(火)	岡田 千砂氏(桜ヶ丘病院 作業療法士)	県リハセンター	

③ 口腔機能向上セミナー(事例から学ぶ口腔機能の向上のための個別支援のあり方～摂食・嚥下機能のアプローチを中心として～)

日 時	講 師	会 場	対 象 者
7月10日(休)	佐々木 敏文氏(市立輪島病院 言語聴覚士)	奥能登行政センター	介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所介護、通所リハビリテーション、市町地域包括支援センター等職員
7月11日(金)	谷内 節子氏(恵寿総合病院 言語聴覚士)	能登中部保健福祉センター	
7月24日(休)	中山 さやか氏(やわたメディカルセンター 言語聴覚士)	両加賀保健福祉センター	
8月5日(火)	矢田 恵氏(金沢春日ケアセンター 言語聴覚士)	県リハセンター	

2 リハビリテーション専門職等研修

リハビリテーション専門職やリハビリテーションに関わる職員への知識の習得や技術の向上をめざすための研修会です。

(1) リハビリテーション医療専門職研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月23日(出) 14:00～16:00	高次脳機能障害の評価の実際(仮) 講師:早川 裕子氏(横浜市脳血管医療センター 作業療法士) *共催:石川県高次脳機能障害相談・支援センター	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカーなど
10月18日(出) 14:00～16:00	在宅におけるリハビリテーションについて 講師:宗近 真理子氏(国立病院機構 京都医療センター 作業療法士)		
11月8日(出) 14:00～16:00	メロディック・イントネーション・セラピー 講師:関 啓子氏(神戸大学医学部保健学科)		
1月24日(出) 14:00～16:00	リハビリテーションと介護保険制度 講師:未定		
2月21日(出) 14:00～16:00	リハビリテーション専門職が知っておきたいSCD 講師:三輪 隆子氏(みわ内科クリニック 院長) *共催:石川県難病相談・支援センター		

(2) リハビリテーション技術研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月15日(火)	リハビリテーション技術研修 I	県リハセンター	介護老人福祉施設、通所介護施設、訪問介護事業所、特定施設入所者生活介護施設等に勤務する機能訓練指導員等(定員:60名程度)
10:00～12:00	個別評価の仕方、リハ計画の立て方 講師:宮本智次氏(ケアバック石川 作業療法士)		
13:00～15:00	アクティビティとレクリエーションの具体的活用方法 講師:西谷 すずな氏(介護老人保健施設ふいらーじゅ 作業療法士)		
15:00～16:00	職場でできる腰痛予防 講師:リハビリテーションセンター職員(理学療法士)		
8月26日(火)	リハビリテーション技術研修 II		
10:00～12:00	基本動作の見方(寝返り、起き上がり、移乗、歩行等) 講師:石渡 利治氏(介護老人保健施設 和光苑 理学療法士)		
13:00～15:00	社会参加と外出支援のノウハウ 講師:今寺 志造氏(青山彩光苑水ライフサポートセンター 作業療法士)		
15:00～16:00	自立に導くADLの見方と介助の方法 講師:リハビリテーションセンター職員(作業療法士)		

3 福祉用具研修

福祉用具に関する知識の習得や技術の向上をめざすための研修会です。

(1) 福祉用具スペシャリスト研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月6日(日) 14:00~17:00	上肢拘縮に対するセラピー～splintによる生活・機能改善の可能性～ 講師：西出 義明氏（高槻赤十字病院 作業療法士）	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等
12月13日(土) 14:00~17:00	福祉用具製作研修会（詳細は未定）		

(2) 福祉用具適合技術研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
10月23日(木)	日常生活行為における移乗動作について 講師：リハビリテーションセンター職員	県リハセンター	福祉用具専門相談員、補装具契約業者 等

(3) 福祉用具実技研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月8日(金)	ユニバーサルデザイン用品とその活用について 講師：リハビリテーションセンター職員 *共催：石川県難病相談・支援センター	県リハセンター	保健・福祉機関職員 等
10月17日(金) 10月21日(火) 10月29日(水) 10月31日(金)	入浴に関する福祉用具の活用と住環境について 講師：リハビリテーションセンター 職員 *共催：各保健福祉センター（同研修4回開催）	南加賀保健福祉センター 県リハセンター 奥能登行政センター 能登中部保健福祉センター	保健・福祉機関職員 等

(4) テクニカルエイド普及研修会（石川県総合養護学校との共催研修会）

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月5日(火) 10:00~15:30	平成20年度公開研修会 講演：コミュニケーションについて 講師：中島賢龍氏（東京大学先端科学技術センター 教授） 希望研修：詳細は未定	県立総合養護学校	教員、保育士、保健師、支援員、その他関係者

(5) 補装具に関する研修会（石川県更生相談所との共催研修会）

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月30日(水)	補装具研修会 補装具について	県リハセンター	補装具契約業者 等
7月31日(木)	調査報告と補装具具構もり作成の実践 講師：県更生相談所職員		医療・福祉機関関係者 等

(6) バリアフリー啓発普及事業

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
9月21日(日)	バリアフリー・福祉用具等の展示と啓発普及（詳細は未定） *障害者ふれあいフェスティバル内での開催	産業展示館	県民

4 難病相談・支援センター研修等

(1) 医療等関係者等研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
11月頃	炎症性腸疾患食事研修会 講師：未定	県リハセンター	医療機関や行政等に働く栄養士他
21年2月頃	難病ヘルパー研修 講師：医大病院看護師、ソーシャルワーカー他	県リハセンター	ヘルパー資格のある方

(2) 難病ネットワーク研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
9月20日(土) 13:30~16:00	災害時の難病患者支援について 講師：国立病院機構新潟病院 中島 孝氏	県リハセンター	医療、保健、福祉関係者、患者会他

(3) セルフマネジメント研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
毎月第1、3土 曜日午前	ヨーカ教室 講師：森 忠幸（ヨーカ研究所 理事）	ほっとあんしんの家 （県リハセンター内）	難病のある方他（要予約）

(4) パソコン研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
隔週水曜日午前	難病の方や身体に障害のある方のパソコン教室を開催 講師：パソコンボランティア	県リハセンター	難病のある方他（要予約）

5 高次脳機能障害相談・支援センター研修等

(1) 家族教室

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月30日(土) 14:00~16:00	家族の関わりなどについて 講師：奥川 悦子氏（日本脳外療友の会）	県リハセンター	高次脳機能障害のある方の家族他
2月28日(土) 14:00~16:00	成年後見制度について 講師：西尾 佳織氏（皆川司法書士事務所）		

(2) 交流会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月15日(日) 14:00~16:00	高次脳機能障害のある方の当事者同士の交流会	ほっとあんしんの家 （県リハセンター内）	高次脳機能障害のある方他

(3) 生活支援教室

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
毎週水曜日 10:00~15:00	高次脳機能障害のある方の生活に関する教室（話し合い、外出他） 講師：県リハセンター職員	ほっとあんしんの家 （県リハセンター内）	高次脳機能障害のある方

バリアフリー推進工房の活動

みんなが参加できるスポーツセンターを目指したユニバーサルデザインの取り組み！

4月12日に「いしかわ総合スポーツセンター」がオープンしました。このスポーツセンターは、「人にやさしい施設づくり」として高齢者や障害のある方を含め、すべての方が安心して利用できる施設を目指して、車椅子バスケットボール、車椅子ツインバスケットボール、電動車椅子サッカー、盲人卓球、聴覚障害者バレーボールなどの障害者スポーツ団体の方々にご協力頂き、県教育委員会、土木部、バリアフリー推進工房の連携で出来上がったセンターです。

多目的トイレには、温水シャワー付汚物流しや、衣服の脱着や便器への移動に配慮したベンチが設置されており、扉の開口幅は車幅の広い競技用車椅子でも通過できるように120cm確保し、異性介護にも最適でゆったりとしています。また一般トイレには車椅子の方々が利用可能な扉開口幅80cmのタイプの洋式便房を設けているので、障害のある方々のスポーツ大会でも安心してトイレをご利用頂けます。

また異性での介護ができる更衣・シャワールームが4箇所あり、シャワーをするときに姿勢を安定させるシャワー用の車椅子（自走で走行できるタイプ、介助型フルリクライニングタイプ）を用意しています。男女別の更衣室にも、車椅子利用者が使いやすいシャワールームが設けてあります。

さらにトレーニングジムには、障害のある方々が車椅子で利用可能な、トレーニングマシンが3台設置されています。



ゆったりトイレ



トレーニングジム



洗面台



ゆったりシャワー室



車椅子対応シャワー室

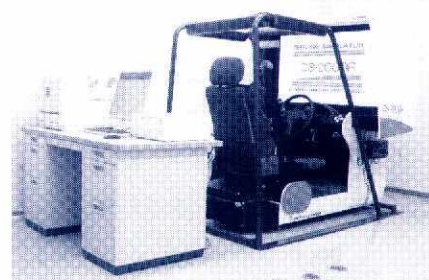
オープン以来、障害のある方々のご利用もあり、みんなが同じ空間で汗を流す姿をみかけることが良くあります。5月18日には県障害者スポーツ協会主催の「ミリオンカップ2008」が開催され、車椅子バスケットボール4チームや車椅子ツインバスケットボール4チームで約80人の選手の方々から東海北陸地区から集まり、また約300名の観客の方々の応援があり、熱戦した試合が行われました。競技者および応援団の方々から、スポーツセンターを利用したご意見も頂き、今後の公共建築のユニバーサルデザインに役立てていこうと思っています。今後ますます、障害の有無にかかわらずみんなと一緒に利用可能なスポーツセンターとして、多くの方々にご利用頂ければと思います。

障害のある人への自動車運転技術支援

自動車運転シミュレーション装置の更新のお知らせ！

障害のある方の生活の自立、就労、社会参加を支援する手段として、自動車運転は極めて有効なものです。リハビリセンターでは平成6年の開設以来、自動車運転シミュレーション装置（以下「装置」）や自立訓練用自動車を用い、県内の病院、福祉機関、自動車学校からの相談に応じてきました。

運転技術支援には①運転能力評価、②動作指導と制度等の情報提供、③改造プランの検討等の相談があり、下記のような取り組みを行ってきました。



今年度10月更新予定の自動車運転シミュレーション装置
三菱プレジジョン㈱製DS-2000R
(イメージ)

事例：1

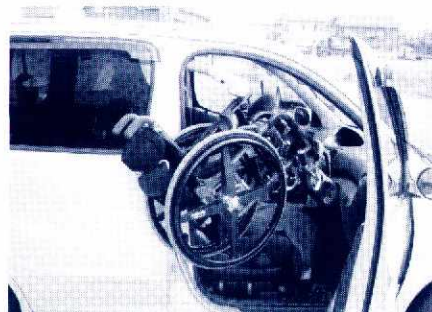
骨形成不全症の方が自動車運転をするにあたり、座高が低いため視野が確保できないとの課題があり自動車学校の先生からの相談でした。座席に姿勢保持のクッションを装着し姿勢の安定と視野を確保するため、装置を利用し必要なクッションの形状を検討し運転能力を評価しました。その結果をもとに運転席にとりつけるクッションを製作しました。



シート完成品

事例：2

頸髄損傷の方が装置に手で動かす部品を取り付け、運転操作や座席への乗り降り、車椅子の搭載に必要な動作を確認し、自動車改造プランを整理しました。自動車運転を実現することで、就労や外出など積極的に社会参加をしています。



上記のような支援のなかで、運転に必要な能力を測定するために装置を利用していましたが、老朽化によりここ数年、不具合の発生が多く、装置を利用した支援ができず相談者の方々にご迷惑をかけてきました。このたび今年度10月よりリハビリセンターに、自動車運転技術支援の道具として、装置の更新が決定しました。また多くの方々にご活用頂き、障害のある方々の就労や社会参加の支援につながるよう準備を進めております。

県高次脳機能障害相談・支援センターの活動紹介

高次脳機能障害相談・支援センターも2年目となりました。相談を必要とする多くの方々に御利用いただきたく、今回相談の流れや役割について御紹介します。

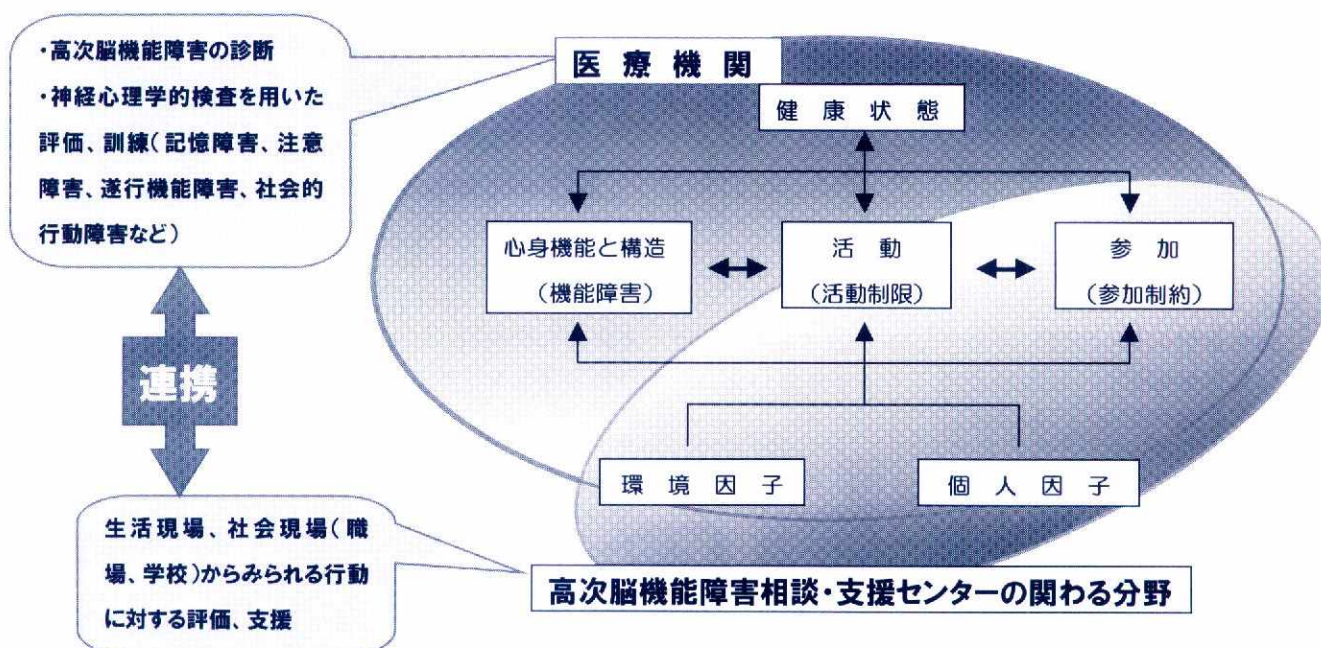
【相談の流れ】

1. 相談員（保健師、心理士）が障害や日常生活上の悩みなどに関する話を聴き、家族会、医療機関、福祉制度などの情報を提供します。
2. 相談内容により、リハビリテーション専門職（作業療法士、理学療法士）が、障害からみられる日常生活上の問題や社会的な問題（就学・就労など）を把握し、具体的な支援について相談員と検討します。
3. 医療機関、就学・就労機関、地域の保健福祉センター、障害者職業センターなどの関係機関と連携して支援を行います。

【センターの役割】

医療機関と連携して、家族や職場、学校などの社会の中で活動や社会参加の障害になっている要因を分析し、少しでも本人に適した生活環境の支援に努めます。

国際生活機能分類（ICF）でいう、活動（生活）・参加（社会参加）の支援に努めていきたいと考えています。



編集・発行 石川県リハビリテーションセンター
〒920-0353 金沢市赤土町-13-1
TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864
E-mail iprc@pref.ishikawa.jp
<http://www.pref.ishikawa.jp/kousei/rihabiri>